

令和8年度 小平第二みどり作業所 事業計画書

1 はじめに

令和7年度は数年来の課題であった職員のチームワーク不足の改善が大きく進んだ年だった。令和5年度以降取り組んできた施設長と職員間のコミュニケーション強化や入退職による職員体制の変更等の効果によるものと考えている。事業所の雰囲気も良くなったという声も内外から聞かれおり、職員定着率の低さも改善されつつある（退職者は令和6年10月以降出ていない）。このことが、利用者支援、就労支援事業に良い効果をもたらし、PDCAサイクルのスキルアップや利用者工賃の向上につながっている。キャリア3年以内の職員が多いことから、8年度はチームワークのさらなる強化と共に職員のスキルアップに力を入れていきたい。また、利用者のやりがい、気持ちの安定、主体性強化という目標をさらに明確にし、事業に取り組んでいきたい。

2 事業概要

1) 施設名	小平第二みどり作業所
2) 事業種別	就労継続支援B型
3) 所在地	東京都小平市天神町3-7-16
4) 経営主体	社会福祉法人 未来
5) 利用定員	40名
6) 利用現員	49名
7) 法人認可年月日	平成14年12月11日
8) 事業開始年月日	平成20年4月1日
9) 職員	14名（令和8年4月1日現在）
	管理者 1名 常勤1
	サービス管理責任者 1名 常勤1
	職業指導員 3名 （常勤換算3.0）
	生活支援員 8名 （常勤換算5.4）
	目標工賃達成指導員 1名 常勤1

3 基本理念

- 1) 一人ひとりの自己実現
- 2) 互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築
- 3) 安心と希望の持てる生活

4 基本方針

- 1) 就労支援
 - ① 利用者の個々の特性にあった就労支援事業の活性化
 - ② 生き生きと働ける職場
 - ③ 職業指導の充実
 - ④ 賃金の保障
 - ⑤ 就労移行支援の実施
- 2) 生活支援
 - ① 日中活動の支援
 - ② 豊かな生活の支援
 - ③ 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
 - ④ 個別支援計画に基づいた計画的な支援
 - ⑤ 利用者への相談支援

⑥ 安心できる将来への支援

5 実施事業（活動内容）

1) 就労支援事業

- ① クッキー製造・販売
- ② パン製造・販売
- ③ 公園清掃
- ④ マンション清掃
- ⑤ 受注作業（ボーロ袋詰め作業等）

2) 生活支援事業

- ① 夕方生活支援事業（利用者の余暇支援事業、週2日程度実施）
- ② 音楽教室（月1回実施）
- ③ 生活支援プログラム（週3回程度、ウォーキング実施）

3) 行事

- 4月 永年勤続表彰式
- 5月 運動会
- 6月 レクリエーション
- 7月 川遊び
- 8月 レクリエーション
- 9月 レクリエーション
- 10月 一泊旅行
- 11月 レクリエーション
- 12月 忘年会
- 1月 レクリエーション
- 2月 レクリエーション
- 3月 レクリエーション

6 日 課

開所・送迎・清掃	8：30～ 9：00
朝 礼	9：15～ 9：30
作 業	9：30～10：30
休 憩	10：30～10：45
作 業	10：45～11：45
片付け	11：45～12：00
昼休み	12：00～13：00
昼 礼	13：00～13：15
作 業	13：15～14：15
休 憩	14：15～14：30
作 業	14：30～15：30
終 礼	15：30～15：50
送 迎	15：50～16：30
清掃・記録等	16：30～17：00
職員打ち合わせ	17：00～17：30

7 重点課題・目標

1) 活動

- (1) 利用者一人ひとりが楽しく生き活きと活動に参加できる居場所づくり

利用者一人ひとりの心情理解等により、満足度を高めることで、周囲と良好な関係性を構築し、生き活きと安定した気持ちで過ごせるようにする。

(2) 利用者の主体性の向上

利用者が主体的に携わる活動や役割の提供や、活動における選択の機会を増やすことで、やりがいを感じながら自分で考え、主体的、自主的に行動できるようにする。

(3) 就労支援事業の充実

- ①作業を通して社会性の向上を図り、一人ひとりが活躍できる場を提供する。
- ②自主製品の製造をはじめとする多種多様な作業種の提供。
- ③新規販路先の開拓等による就労支援事業収入の増収。

クッキー事業目標

	令和7年度実績（見込）	令和8年度目標
年間製造個数	34,100個	34,600個
年間売上	6,050,000円	6,150,000円

パン事業目標

	令和7年度実績（見込）	令和8年度目標
年間製造個数	30,000個	33,000個
年間売上	4,400,000円	4,800,000円

④工賃向上

令和8年度目標工賃 19,000円（令和7年度1月末実績 18,415円）

(4) 食品管理に伴う事故の防止

- ①マニュアルの周知徹底
- ②実技講習会等の継続的な実施
- ③異物混入未然防止のための点検、対策の実施等

2) 人材育成

- (1) 職員の定着率の向上
- (2) 新人職員の育成
- (3) 職員の複数担当制による相互補完体制の強化
- (4) 職員間の連携強化
- (5) PDCAサイクルの実施による利用者支援スキルの向上

3) 経営管理

(1) 訓練等給付費の安定確保

1日平均利用者40人（50人在籍利用率80%）を目標とし、利用者の安定通所を図る（令和7年度1月末実績：1日平均利用者40.5人、50人在籍—令和7年度1月末現在）。

(2) 基本報酬単価1万5千円以上を維持。

(3) 月次試算による経営状態の把握

毎月の月次試算の分析を丁寧に行い、予算執行を計画的に行う。

(4) コスト削減

節電節水節約に務めコストの削減を行う。

8 環境の整備

施設内外の美化と利用者身の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

9 健康管理

- 1) 新型コロナウイルス感染症等の感染症対策を徹底する。
- 2) 定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族・保健師等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。

10 防災計画

管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年3回実施する。

総指揮 管理者

連絡担当 職業指導員および生活支援員

救助担当 職業指導員および生活支援員

11 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。